

平成18年度 下野市生活習慣病検診のお知らせ

合併後初年度の生活習慣病検診事業につきましては、住民の皆様には多大のご迷惑をおかけしています。検診がスムーズに進みますよう、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【平成18年度の検診概要】

検診項目	検診内容	対象年齢	受診機関(方法)
基本健康診査	心電図・血圧・血液検査等	40歳以上の男女	~ の検診は、 市内医療機関又は集団検診のどちらかで受診してください。 一人年1回の受診です。 受診者負担金は、それぞれの窓口でお支払いください。なお、70歳以上、障害者手帳保持者(手帳を提示)は無料です。
高齢者生活機能評価検診	基本チェックリスト(アンケート調査)等	65歳以上の男女 生活機能の低下の有無を検査します。	
肝炎ウイルス検診	C型とB型肝炎ウイルス感染の有無の検査	(1) 節目検診 40・45・50・60・65・70歳の男女 (2) 節目外検診 年齢対象外で過去に大出血の既往のある方等	
	過去に検査を受けた方は対象になりません。41~75歳の方で、今までに、節目検診を受けられなかった方は対象になります。		
大腸がん検診	便の潜血反応検査(2日法)	40歳以上の男女	
子宮がん検診	子宮頸部の細胞診検査	20歳以上の女性	

次の検査項目は、「集団検診のみ」です。
 (1) 胃がん・肺がん(40歳以上の男女) (2) 乳がん検診(40歳以上の女性)
 (3) 骨密度測定(40・45・50・55・60・65・70歳の女性) (4) 前立腺がん検診(50歳以上の男性)
 (5) 青年期生活習慣病検診(20~39歳の男女)・・・血圧、血液検査

対象年齢の基準日は「平成19年3月31日」です。たとえば、現在69歳で平成19年3月1日に70歳になる方は、70歳となります。医療機関、個人や集団検診日程等詳細については、4月、5月号の広報でお知らせしてあります。次の検査項目は、医療機関の個別検診のみです。……歯周疾患検診(40・50・60・70歳の男女)

げんき・にこにこ・健康こらむ

シリーズ
夏の感染症について
ワンポイントアドバイス



『夏かぜに注意!』乳幼児にかかりやすい感染症

*手足口病 ~春から夏に多い~

(原因) 夏かぜのウイルスの1種であるエンテロウイルス

(感染経路) 飛沫感染・便からの経口感染

(潜伏期間) 2~7日

(症状) 手のひら・足の裏・口の中に米粒ほどの水泡ができます。痛みやかゆみはあまりありませんが口の中の水泡がつぶれると痛みまっ。熱は出ても37~38度くらい、2~3日で下がります。水泡も1週間くらいで消えます。

*ヘルパンギーナ ~夏に多い~

(原因) 夏かぜウイルスの1種であるコクサッキーウイルス

(感染経路) 飛沫感染・便からの経口感染

(潜伏期間) 2~7日

(症状) 最初は38~39度くらいの熱が急に出て、のどを痛がり、食欲がなくなります。のどの奥に小さな水泡ができ、痛くてものを飲み込むことがつらくなります。熱は2~3日で下がり、のどの水泡も1週間ほどで治ります。

* プール熱(咽頭結膜熱)

(原因) アデノウイルス

(感染経路) 接触感染で主としてプールで感染・便からの経口感染もある。

(潜伏期間) 5~6日

(症状) 39~40度くらいの高熱が出てのどが赤くはれて痛み、白目の部分が赤く充血します。高熱は3~4日続き、せきが出たり、腹痛、下痢を起こすこともあります。感染力の強いウイルスなので、タオルは専用のものを使いましょう。